

神戸長田の森 長田神社の節分 追儺式 2026.2.3.

日本各地の鬼伝承の鬼にも思いをはせて



長田神社古式追儺式
(県指定重要無形民俗文化財)
令和8年2月3日(火)節分

【PDF File】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOniweb.pdf>

【Photo Album】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOniphoto.pdf>

【スライド動画】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOni.mp4>

参考【1】 [節分の鬼に思いを馳せて 災い祓い「福は内 鬼も内」 2021 春の足音 2月の便りより](#)

【2】 [日本各地の鬼伝承 和鉄の道 Iron Road 掲載リスト 2013.1.15.](#)

■ [和鉄の道・Iron Road Top Page](#) <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

神戸 長田の森 長田神社の節分・追儺式 2026.2.3.

この行事は、七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝う願う予祝の神事

長田神社追儺式の鬼は神々のお使いとしての鬼、神々に代わって全ての災を払い清めて、清々しい良い年(節分/立春)を迎えることを祈り踊る。

室町時代(約650年程前)には、既に現況の様な形で行なわれていたことが伺われ、古い形態を今日に伝える貴重な神事として、鬼面並び行事一式が昭和45年兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている。

長田神社の節分・追儺式 概要

一番太郎鬼・赤鬼・青鬼・姥鬼・呆助鬼・餅割鬼・尻くじり鬼 合わせて七匹の鬼と太刀役五人の童児、肝煎り(世話人等数十名が奉仕して行われるこの神事 長田神社の節分・追儺式

七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝い、願う予祝の神事

行事の午後1時30分頃始まり

7匹の鬼が社殿に登場 松明を振りかざし、松明の炎で種々の災を焼きつくしお祓い

ほら貝・太鼓の音に合せ、本殿前舞台右端から、一番太郎鬼が右手に麦藁で作った松明を持ち踊りな登場鬼が持つ松明の灰を被ることで祓を受けるとされ、松明の燃え残りはお守りとして家の入口に吊るす習わし。次いで各々松明を持った赤鬼、姥鬼、呆助鬼、青鬼、一番太郎鬼の順で現われ、五匹揃って演舞。

5匹の鬼の演舞の後、さらに右手に松明、左手に斧の餅割鬼、腰に槌をさし、右手に松明、左手に大矛を持つ尻くじり鬼の2匹の鬼が踊る。

太刀渡し・太刀納め

次いで赤鬼以下五匹がそれぞれ、登場口より登場、太刀を腰にした太刀役より太刀を受取り、右手に松明、太刀を左肩にして演舞。5匹の舞が終わると退場口に再度太刀持ちが立ち、太刀役に太刀を返して退場。再び餅割鬼、尻くじり鬼の二匹が現われ、更に御礼参りと云って先の五匹が現れる。

餅割

愈々最後に、この行事の最高調の見せ場である餅割。

餅割鬼と尻くじり鬼の二匹により「泰平の餅」「六十四州の餅」「影の餅」を斧・槌で割ろう(災厄解除の祓)と面白い所作を繰り返りひろげ繰り返しながら踊り、最後に「影の餅」を斧で割り、行事は終了

約3時間越の長い神事 寒くて今年は「餅割」神事を見るのをパス。

久し振りに出会えた鬼たち そして日本各地に残る鬼伝承の鬼たちに思いをはせつつ帰路に。

「福は内 鬼も内」 2026. 2.3. From Kobe Mutsu Nakanishi





ついな
長田神社古式追儺式
(県指定重要無形民俗文化財)
令和8年2月3日(火)節分





神戸の街中に接して古くからある東に生田の森 西に長田の森
長田の森、巨樹に包まれた長田神社 2026.2.3.
境内には神戸市指定天然記念物にも指定されている巨大なクスノキが
多数群生、photoは鳥居前の大楠

長田神社 節分・追儺式 2026.2.3. 14:45



追儺式の半ば 太刀渡し神事

太刀を受け取った5匹の鬼が太刀を肩に炎を上げる松明を手に邪気を切り裂き、穢いを焼き尽くす鬼踊り。鬼が手にする松明の灰を被ることで、祓いを受けるとされる。



追儺式のスタート 長田の森の巨樹に包まれた本殿前舞台上に餅割鬼 尻くじり鬼が登場 餅割鬼が参拝者の肩や頭をなでてお祓いをする姿

神戸 長田の森 長田神社の節分・追儺式 2026.2.3.

この行事は、七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝う願う予祝の神事

長田神社追儺式の鬼は神々のお使いとしての鬼、神々に代わって全ての災を払い清めて、清々しい良い年(節分/立春)を迎えることを祈り踊る。

室町時代(約650年程前)には、既に現況の様な形で行なわれていたことが伺われ、古い形態を今日に伝える貴重な神事として、鬼面並び行事一式が昭和45年兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている。

長田神社の節分・追儺式 概要

一番太郎鬼・赤鬼・青鬼・姥鬼・呆助鬼・餅割鬼・尻くじり鬼 合わせて七匹の鬼と太刀役五人の童児、肝煎り(世話人等数十名が奉仕して行われるこの神事 長田神社の節分・追儺式)

七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝い、願う予祝の神事

行事の午後1時30分頃始まり

7匹の鬼が社殿に登場 松明を振りかざし、松明の炎で種々の災を焼きつくしお祓い

ほら貝・太鼓の音に合せ、本殿前舞台右端から、一番太郎鬼が右手に麦藁で作った松明を持ち踊りな登場 鬼が持つ松明の灰を被ることで祓を受けるとされ、松明の燃え残りはお守りとして家の入口 に吊るす習わし。次いで各々松明を持った赤鬼、姥鬼、呆助鬼、青鬼、一番太郎鬼の順で現われ、五匹揃って演舞。

5匹の鬼の演舞の後、さらに右手に松明、左手に斧の餅割鬼、腰に槌をさし、右手に松明、左手に大矛を持つ尻くじり鬼の2匹の鬼が踊る。

太刀渡し・太刀納め

次いで赤鬼以下五匹がそれぞれ、登場口より登場、太刀を腰にした太刀役より太刀を受取り、右手に松明、太刀を左肩にして演舞。5匹の舞が終わると退場口に再度太刀持ちが立ち、太刀役に太刀を返して退場。再び餅割鬼、尻くじり鬼の二匹が現われ、更に御礼参りと云って先の五匹が現れる。

餅 割

愈々最後に、この行事の最高調の見せ場である餅割。

餅割鬼と尻くじり鬼の二匹により「泰平の餅」「六十四州の餅」「影の餅」を斧・槌で割ろう(災厄解除の祓)と面白い所作を繰り返しながら踊り、最後に「影の餅」を斧で割り、行事は終了

約3時間越の長い神事 寒くて今年は「餅割」神事を見るのをパス。

久し振りに出会えた鬼たち そして日本各地に残る鬼伝承の鬼たちに思いをはせつつ帰路に。

「福は内 鬼も内」 2026. 2.3. From Kobe Mutsu Nakanishi



節分・追儺式2026 長田神社前 長田の森にある長田神社 2026.2.3.
長田商店街から参道を北へ抜けると六甲連山 高取山の東山裾 長田の森
今日は節分で数多くの店が出ている
境内には数多くの大楠の巨樹 赤い鳥居後ろに神戸市天然記念物指定の大楠が見える



私が本殿前についた時には、
法螺貝、太鼓の大きな音が鳴り響き
はもう追儺式始まっていて、多くの人達が
拜殿前に集まっていました。
右手に松明、左手に芥の餅割鬼が、演舞中
これから追儺式の演舞(鬼踊り)が暗くなるまで続いてゆく。

本殿前舞台では餅割鬼が参拝者の肩や頭をなでてお祓いをする姿が見えました 追儺式のスタート



追儺式のスタート

社殿東奥では、演舞を終えた鬼たちが、社殿の裏側を回って、東側奥で介添(肝煎り)の肩に手を駆けて休んでいるのが見られました。



呆助鬼

姥鬼

赤鬼

一番太郎鬼

青鬼

餅割鬼

尻くじり鬼

呆助鬼・姥鬼・赤鬼・一番太郎鬼・青鬼が休んでいます



五匹の鬼が演舞した後 餅割鬼と尻くじり鬼が登場、松明を振りかざし演舞しているのが見える



追儺式のスタート

餅割鬼と尻くじり鬼が舞台を去る中、本殿中央には次の「太刀渡し」の主役の学童たちが腰に太刀を差し、勢ぞろいして鬼を見送っています 14:53



太刀渡し・太刀納め神事のスタート

5匹の鬼が舞台の搭乗口でそれぞれ太刀役の学童から、太刀を受け取り、本殿中央で松明の炎で災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い・清め、人々の無病息災、家内安全を祈り願って一陽来復 春が来ることを祝い願う鬼踊り。そして、西の退場口で太刀納め。



太刀渡し・太刀納め神事太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し



太刀渡し・太刀納め神事 太刀渡し





太刀渡し・太刀納め神事 五匹の鬼がそろって 鬼踊り



太刀渡し・太刀納め神事 五匹の鬼がそろって 鬼踊り



太刀渡し・太刀納め神事 五匹の鬼がそろって 鬼踊り



太刀渡し・太刀納め神事 五匹の鬼がそろって 鬼踊り



太刀渡し・太刀納め神事 五匹の鬼がそろって 鬼踊り



太刀渡し・太刀納め神事 太刀納め







太刀渡し・太刀納め神事 太刀納め



太刀渡し・太刀納め神事 太刀納め



太刀渡し・太刀納め神事 太刀納め



太刀渡し・太刀納め神事 太刀納め



こうべ 長田の森 長田神社の節分・追儺式 2026.2.3.

この行事は、七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝う願う予祝の神事

長田神社追儺式の鬼は神々のお使いとしての鬼、神々に代わって全ての災を払い清めて、清々しい良い年(節分/立春)を迎えることを祈り踊る。

室町時代(約650年程前)には、既に現況の様な形で行なわれていたことが伺われ、古い形態を今日に伝える貴重な神事として、鬼面並び行事一式が昭和45年兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている。

長田神社の節分・追儺式 概要

一番太郎鬼・赤鬼・青鬼・姥鬼・呆助鬼・餅割鬼・尻くじり鬼 合わせて七匹の鬼と太刀役五人の童児、肝煎り(世話人等数十名が奉仕して行われるこの神事 長田神社の節分・追儺式

七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝い、願う予祝の神事

行事の午後1時30分頃始まり

7匹の鬼が社殿に登場 松明を振りかざし、松明の炎で種々の災を焼きつくしお祓い

ほら貝・太鼓の音に合せ、本殿前舞台右端から、一番太郎鬼が右手に麦藁で作った松明を持ち踊りな登場 鬼が持つ松明の灰を被ることで祓を受けるとされ、松明の燃え残りはお守りとして家の入口 に吊るす習わし。

次いで各々松明を持った赤鬼、姥鬼、呆助鬼、青鬼、一番太郎鬼の順で現われ、五匹揃って演舞。

5匹の鬼の演舞の後、さらに右手に松明、左手に斧の餅割鬼、腰に槌をさし、右手に松明、左手に大矛を持つ尻くじり鬼の2匹の鬼が踊る。

太刀渡し・太刀納め

次いで赤鬼以下五匹がそれぞれ、登場口より登場、太刀を腰にした太刀役より太刀を受取り、右手に松明、太刀を左肩にして演舞。5匹の舞が終わると退場口に再度太刀持ちが立ち、太刀役に太刀を返して退場。再び餅割鬼、尻くじり鬼の二匹が現われ、更に御礼参りと云って先の五匹が現れる。

餅割

愈々最後に、この行事の最高調の見せ場である餅割。

餅割鬼と尻くじり鬼の二匹により「泰平の餅」「六十四州の餅」「影の餅」を斧・槌で割ろう(災厄解除の祓)と面白い所作を繰り返りひろげ繰り返しながら踊り、最後に「影の餅」を斧で割り、行事は終了

約3時間越の長い神事 寒くて今年は「餅割」神事を見るのをパス。

久し振りに出会えた鬼たち そして日本各地に残る鬼伝承の鬼たちに思いをはせつつ帰路に。

「福は内 鬼も内」 2026. 2.3. From Kobe Mutsu Nakanishi

長田の森に法螺貝と太鼓の音が響き渡る中で、
5匹の鬼たちが太刀を肩にして、松明をかざして舞い踊る「太刀渡し神事」
炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い舞い踊る「鬼踊り」
久し振りに出会えた長田神社の鬼たちが踊る鬼踊り
寒さに震えながらでしたが、鬼たちがかざす松明のお祓いも受けて、
うれしい春迎え 身も心も新たに。
また、舞い踊る鬼たちの姿に日本各地に残る鬼伝承の鬼たちにも思いをさせて、
うれしい出会いに。

本殿前へ来て、もう2時間を過ぎて、日差しも弱くなって寒さがきつくなってきたので、
餅割神事に参加するのはやめて、帰路へ。

2月になっても厳しい寒さが続いています、長田の商店街を歩くのも久しぶり
帰り道“大西のぼたもち”は残念ながら もう売り切れに。

今日もうれしい一日“Nice Day!!”春の足音はすぐそこに
God Be With You!! from Kobe 2026.2.3. 節分 Mutsu Nakanishi

◎ 日本各地に残る鬼伝承の鬼たちにも思いをさせて
節分にはいつも日本の鬼たちを掲載したくて

◀ <https://infokkna.com/ironroad/2021htm/R0302.htm#2>.

- 【動画】長田神社 節分追儺式2017
- 《参考》日本各地 鬼伝説和鉄の道・Iron Road 掲載リスト 2013.1.15.



ついな
長田神社古式追儺式
(県指定重要無形民俗文化財)

令和8年2月3日(火)節分



神戸長田の森 長田神社の節分 追儺式 2026.2.3.

日本各地の鬼伝承の鬼にも思いをはせて



長田神社古式追儺式
(県指定重要無形民俗文化財)
令和8年2月3日(火)節分

【PDF File】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOniweb.pdf>

【Photo Album】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOniohoto.pdf>

【スライド動画】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2026htm/iron22/R0802KobeNagataOni.mp4>

参考【1】 [節分の鬼に思いを馳せて 災い祓い「福は内 鬼も内」 2021 春の足音 2月の便りより](#)

【2】 [日本各地の鬼伝承 和鉄の道 Iron Road 掲載リスト 2013.1.15.](#)

■ [和鉄の道・Iron Road Top Page](#) <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

神戸 長田の森 長田神社の節分・追儺式 2026.2.3.

この行事は、七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝う願う予祝の神事

長田神社追儺式の鬼は神々のお使いとしての鬼、神々に代わって全ての災を払い清めて、清々しい良い年(節分/立春)を迎えることを祈り踊る。

室町時代(約650年程前)には、既に現況の様な形で行なわれていたことが伺われ、古い形態を今日に伝える貴重な神事として、鬼面並び行事一式が昭和45年兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されている。

長田神社の節分・追儺式 概要

一番太郎鬼・赤鬼・青鬼・姥鬼・呆助鬼・餅割鬼・尻くじり鬼 合わせて七匹の鬼と太刀役五人の童児、肝煎り(世話人等数十名が奉仕して行われるこの神事 長田神社の節分・追儺式

七匹の鬼が神々のお使いとして、松明の炎で種々の災を焼きつくし、太刀の刃で寄り来る凶事を切り捨て、天地を祓い 国土を清め、一年間の人々の無病息災、家内安全を祈り願って、一陽来復の立春が巡り来ることを喜び祝い、願う予祝の神事

行事の午後1時30分頃始まり

7匹の鬼が社殿に登場 松明を振りかざし、松明の炎で種々の災を焼きつくしお祓い

ほら貝・太鼓の音に合せ、本殿前舞台右端から、一番太郎鬼が右手に麦藁で作った松明を持ち踊りな登場鬼が持つ松明の灰を被ることで祓を受けるとされ、松明の燃え残りはお守りとして家の入口に吊るす習わし。次いで各々松明を持った赤鬼、姥鬼、呆助鬼、青鬼、一番太郎鬼の順で現われ、五匹揃って演舞。

5匹の鬼の演舞の後、さらに右手に松明、左手に斧の餅割鬼、腰に槌をさし、右手に松明、左手に大矛を持つ尻くじり鬼の2匹の鬼が踊る。

太刀渡し・太刀納め

次いで赤鬼以下五匹がそれぞれ、登場口より登場、太刀を腰にした太刀役より太刀を受取り、右手に松明、太刀を左肩にして演舞。5匹の舞が終わると退場口に再度太刀持ちが立ち、太刀役に太刀を返して退場。再び餅割鬼、尻くじり鬼の二匹が現われ、更に御礼参りと云って先の五匹が現れる。

餅割

愈々最後に、この行事の最高調の見せ場である餅割。

餅割鬼と尻くじり鬼の二匹により「泰平の餅」「六十四州の餅」「影の餅」を斧・槌で割ろう(災厄解除の祓)と面白い所作を繰り返りながら踊り、最後に「影の餅」を斧で割り、行事は終了

約3時間越の長い神事 寒くて今年は「餅割」神事を見るのをパス。

久し振りに出会えた鬼たち そして日本各地に残る鬼伝承の鬼たちに思いをはせつつ帰路に。

「福は内 鬼も内」 2026. 2.3. From Kobe Mutsu Nakanishi